

加西ふるさと夏ミーティング 2012 質問等一覧

富合小学校区		6月29日(金) 18:00 ~ 20:30 別府西町公民館	1部:16人 2部:28人 合計:44名	
第1部				
No	第5次総合計画 施策分類	意見概要	市の回答など	
			回答者	内容
1	明日を担い未来へつなげる人づくり	野球・バレー・サッカーなどのスポーツ少年団への助成ができないか。また、子供達が十分にスポーツを取り組める環境を作ってほしい。	教育長	財政の状況もあり、金額はわずかになっている。要望も多いためだけいているが、いろいろ検討をしている。スポーツに限って増加するというのは難しい。
2	明日を担い未来へつなげる人づくり	学校の部活動のあり方。私が中学生だった頃と時代が違うが、先生も生徒も部活への関心が違っている。子供がしたいと思っている部活ができない環境になっていることを、どう思われているか。例えば、少女バレーをしていた子が加西中は、バレー部が無いので入れない。部活は、強い部になるのも大事だが、精神力などを身につける為に部活は大事だと思っている。	教育長	子供の数が減ると競技できる部活が限られてくる。部活動は、集団性などを身につけるという意味合いもあるので、小学生から中学生になっても同じ競技をしないといけないということではない。学校間で部活を共有するという方法があるが、授業が終わってから移動して部活をするということについては、授業の終了時間や移動中の交通安全等を考えると難しい。
3	明日を担い未来へつなげる人づくり	例えば、ボランティアで部活の指導者を募集するとかはできないか。	ふるさと創造課長	スポーツクラブ21という県の事業があった。これの本旨は、総合型のスポーツクラブを作るということが目的であった。それを2部で説明するふるさと創造会議で、運営できないか検討してはどうかと考えている。

4	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	通学路整備の300万円について、用途を自由に使えるようにしていただきたい。また、これを実施するにあたり、地域と二人三脚で進めるのか、それとも区長達で決められてしまうのか。こういった形で進めていくのかを教えてください。	ふるさと創造部長	各小学校区に300万円を通学路の危険箇所の補修に使う。これは、市としては初めての試みであるが、ふるさと創造会議の一例になるが、地域の方で話し合っ、補修すべき箇所を洗い出し、優先順位を決めて実施していくものです。
5	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	加西市に住み始めて1年。その間に幸いにして、家を建てる事ができた。しかし、家を建てるのが難しいと聞くので、規制緩和して欲しい。	ふるさと創造部長	特別指定区域制度を使って、新規居住者区域を定め、加西市に縁もゆかりも無い人が家を建てられる地域を設定できる。この区域をどんどん広げていこうと思っている。
6	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	双子のサポートやネットワークが加西は弱いと感じた。双子は増えてきていると思うので、なんらかのネットワークを作ってほしいし、それをどこに相談に行けばいいか窓口を設置してほしい。	ふるさと創造課長	双子への支援については、未熟児や困難性を持って生まれた子に対しては行っているが、特に実施していない。県の事業では双子の親の会などの会はある。担当部署に意見を伝えていきたい。
7	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	加西市には、魅力的な遊ぶ施設が無い。特に雨の日はまったく無い。例えば、「ねひめキッズ」を土日でも開放してほしい。	教育長	旧の富田幼稚園跡に「ねひめキッズ」、各公民館では子育てについて、いろんな制度を設けている。地域で育てるというのも重要だとも思っている。既存の施設を生かしながら対応していきたい。
8	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	お母さんと子供だけで遊びにいける施設が無い。子育て広場はありがたかった。加西市は3世代同居の家が多いが、日中は母子だけで過ごすから、いろんなサポート情報をわかりやすくPRして欲しい。広報以外で、例えば病院とかでポスターがあればいいと思う。	教育長	こういった媒体でPRすればいいか悩んでいる。広報やHPは充実していると思っているが、どうすれば広がるか悩んでいる。みなさんのいろんなご意見を聞いて検討していく。
9	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	北部で鹿や猪の対策が取られてきたので、中部まで出てくるようになった。なんらかの対策やそれに伴う補助金をお願いしたい。	ふるさと創造部長	確かに北部では、早くから鹿やいのししの対策をしている。年々、柵の補助を出しているが、抜本的な解決策になっていない。里山整備などして、対応はしているが、なかなか効果が

				出ない。予算は限られているが対応は続けたい。
第2部				
10	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	5万人都市の再生。たとえ、5万人都市が達成したとしても、地域の繋がり、心の繋がりが大事。地域で収穫祭などの催しを実施した。地域との交流が無い人をどんどん増やすことは望ましくない。生きがいつくりの為に資金が欲しい。	副市長	同感である。この度の通学路の件をきっかけに、地域でいろいろ考えるという機会を設けていただきたい。それには、予算が必要だと思うので、ふるさと創造会議で対応できるようにしたい。
11	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	ここ数年で20名ほど町民は増えている。特に何もしていない。近くに太陽光発電ができて、住み良い町になってきているのかもしれない。地域に子供や若い人がいると、活気があって良い。	市長	ぜひ、現状を詳しくお聞かせ願いたい。
12	健全な行財政運営の確立	青野原町は加西市と加東市が入り組んでいる。道の修繕をお願いに行く際に、どちらの市にも行かないとダメであった。道はつながっているのので、できれば市同士で調整してもらいたい。	市長	具体的な例を教えてください。対応できる範囲で行いたい。
13	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	工業団地に加古川方面から通勤している人が多い。工業団地内の企業の社員に聞いてみると地元で勤務している者が少ないと言う。加西の企業もいい会社が多いので、学生に企業情報が伝わるようにしてはどうか。	病院総務課長	加西市の方は、臨海部にある会社のほうが優秀な会社だと思っているところがあるが、市内の企業も優秀な企業が多い。就職についてもっと情報を出していく。
14	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	朝妻の工業団地の歩道整備が途中で途絶えているので、対応願いたい。	ふるさと創造部長	途絶えている部分は把握しているので、対応していきます。

15	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	北条高校について、今年は定員が割れた。子供の教育の為に小野や加東で住居を構える人がいる。西脇工業は駅伝で全国区であり、在校生もプライドを持って学生生活を送っている。生徒がプライドを持てる学校にしていくようにしてほしい。	市長	県教育委員会にお願いし、今年から加西出身の校長で若い方に就任をお願いし、実現できた。北条高校のほうで、中学生やその保護者に向けてPR活動をしている。少しずつ成果が現れていると思っている。これからも見守っていただきたい。必ず変わると信じている。
16	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	雇用の場を作るという観点で、NPO設立や企業の立ち上げについて相談できる場所や融資をして欲しい。		以前のタウンミーティングでも話題に出た。加西市として、ぜひ制度作り(相談等)をしたい。
17	誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり	ふるさと創造会議は、どういった枠組みで行われるのか。		ふるさと創造会議は、すでに築かれた精神的な基盤がある。既存団体をスライドするのではなく、大きな枠組みの中で、予算を配分し権限をおろしていくという作業を時間がかかるかもしれないが実施したい。